

CAP(まちなか再生総合プロジェクト)

ライブラリーカフェ(仮称)の平成26年度開設に向けて設置条例を制定するなど、まちなかの定住人口や交流人口の増加を目指します。また、「とまチョップ」を市民に愛されるキャラクターに育てるとともに、積極的にイベントやメディアに出演させ、本市のPRや賑わいの創出につなげます。

災害に備えたまちづくり

北海道が作成した津波浸水予測図に基づき、地域防災計画の見直しを行います。また、浸水が予測される地域における地区別津波避難計画の策定作業や市民防災講座の開催など、地域防災力の向上に努めます。

福祉

雪かきボランティア制度やぬくもり灯油事業を継続します。また、障がい者雇用引き続き取り組むほか、公共施設のバリアフリー化を推進します。さらに、安心して授乳やおむつ交換が行える「赤ちゃんの駅」を中央図書館などに増設するほか、成年後見制度の啓発に取り組みます。

次世代を担う子どもたち

子どもたちの個性を生かしながら、自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を育む環

境整備が重要であるため、教育委員会と連携して取り組みます。今年度は、拓進小学校の開校や青翔中学校の増築、学校施設の早期耐震化に取り組みます。また、スクールソーシャルワーカーを増員するほか、廃園予定のはなぞの幼稚園について関係機関と連携を強化します。

文化・スポーツ

文化振興は、7月オープンの苫小牧市美術博物館(仮称)でさまざまな企画展を開催するほか、文化公園アートフェスティバルなどを継続し、文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。スポーツ施設は、緑ヶ丘公園陸上競技場を全天候型に改修するほか、ときわスケートセンターの建設に着手します。

苫小牧中央インターチェンジ

物流の効率化や広域医療への貢献などが期待されるフル規格インターチェンジの設置に向け、新政権の政策を注視しながら、関係機関と協議します。

主要施策

健やかで安心・安全に暮らすまち

子育て支援は、すみれ保育園の民間移譲に向けた協議や「子ども・子育て支援事業計画」の策定準備を進めます。

健康関連事業は、保健センターの建設に向け協議を進めるほか、がん検診無料クーポン券事業や各種予防接種事業などを継続します。

市立病院は、医師の安定的な確保に努めるほか、病棟再開に向けた看護師確保のため初任給の引き上げと学資金貸与制度の拡充を行います。

消防は、消防庁舎の適正配置を図るとともに、新たに指揮隊を発足し、災害対応力を強化します。

活力ある産業と賑わいのまち

新千歳空港は、今後も北海道との連携を強化し、地域の皆さんとの協議を踏まえ、空港機能の拡充に努めます。千歳基地での日米共同訓練は、市民周知に努め、市民の安心・安全を確保します。

苫小牧港は、耐震強化岸壁の整備などを行い、機能を強化します。

中小企業の振興は、新たな中小企業振興条例の理念に基づき、企業に対する技術力向上への支援を図るなど、経営基盤の安定に努めます。

自然と環境にやさしいまち

地球温暖化対策は、住宅用太陽光発電システム設置の助成件数拡大や省エネルギーの推進などに取り組みます。大気汚染は、測定局の適正配置に取り組みなど、効率的な監視を行います。

快適空間に生活するまち

公園は、老朽化が著しい公園をリニューアル整備するほか、長寿命化計画を策定します。

水道は、浄水施設の耐震など、災害に強い水道の構築を進めます。

下水道は、施設の耐震化計画を策定するほか、集中豪雨対策として雨水ポンプを増設します。

道路は、新開町5号中通などを整備するほか、橋梁の長寿命化対策に着手します。

公共交通は、利便性の向上などを図るため、公共交通協議会を開催するほか、予約運行型バスを継続します。

手をつなぎ歩む誇りが持てるまち

町内会館の整備は、美原町内会館の建設などに助成します。

男女平等参画は、男女平等参画都市宣言を行います。

国際交流は、姉妹都市や友好都市との交流が市民や民間団体に幅広く発展するよう取り組みます。

HP政策推進課

検索

掲載内容は要約です。全文は市役所2階市民情報コーナー、各出張所、ホームページでご覧になれます。